



第 84 号

平成 23 年 6 月 30 日
発行
本荘由利森林組合
由利本荘市水林 381
TEL 0184 24 4141(代)
FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~honmori/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



ホダ木打ち込み 森林組合本所

第十七回本荘由利森林組合通常総代会 開催

平成二十三年五月三十一日、ホテルアイリスを会場に通常総代会が開催されました。最初に、三月に発生した東日本大震災の犠牲者への黙祷を行いました。

小松組合長挨拶、来賓より祝辞を頂戴した後に、議長に矢島地区佐藤嘉孝氏を選任し、議事が進行しました。

組合長あいさつ

本日、総代の皆様には、ご多忙のところ、多数のご出席をいただき、誠にありがとうございました。



小松組合長

また、本日は、ご公務大変お忙しいところ、多くのご来賓のご臨席を賜り、総代会を開催できますことに對し、衷心よりお礼申し上げますとともに、平素からご指導、ご支援をいただいておりますことに対し、この場をお借りしまして、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年度は、エコカー補助金や減税、家電エコポイントといった各種経済対策が奏功し、前年からの流れを引き継いで緩やかな回復基調で推移しました。

由利管内でも大手電子部品関連企業などが増加基調で推移し、好決算を収めたことは周知のことです。

林業・木材産業では一昨年の住宅着工数が八十万戸割れとなるなど、ここ二、三年下げ基調で推移してきたところですが、昨年は八十万戸台に回復し、幾らか持ち直してきたところです。

昨年度は、森林・林業再生プラン推進委員会による「森林組合の役割の明確化」の報告について、神経を尖らせる年でした。

今年度は、「森林・林業再生プラン」に基づく各種政策がスタートする年であります。

森林組合系統では「森林組合21世紀ビジョン2ndステージ」の実績を踏まえ、新たに3rdステージ「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」を展開し、「森林・林業再生プラン」の目標達成に向けて頑張つてまいります。

当組合でも、本年度の基本方針に掲げた重点事項を一つ一つ実践することで、地域森林の価値の向上を図り、中長期的に持続的な利益を確保できるよう推進してまいります。

提案型集約化事業の推進では、積極的に事業へ取り組み、着実にその実績とノウハウを蓄積しております。

森林所有者の利益を図りながら、この地域の森林を守るには、多くの小規模所有者より長期施業の受委託を推進し、施業集約化を進めていくことが最も適切な方策であります。

組合では、これからも職員の資質向上、管理体制及び財務基盤の強化に努めてまいりますので、関係各位のご指導、ご教示賜りますようお願いいたします。



い申し上げます。
終わりになりますが、本日ご提案いたしました全議案につきまして、皆様のご承認をただけますようお願い申し上げますが、ごあいさつとさせていただきます。

出席者集計

総代定数……………三〇〇名
 総代現在数……………二九七名
 本人出席……………一八七名
 委任出席……………〇名
 書面議決……………四七名
 合計……………二三四名
 出席率……………七九%

議案一号から議案第九号までの審議が行われ、全議案承認可決されました。



議長 佐藤嘉孝氏

《質疑応答》

質疑

東日本大震災により、国の財源不足が伴うと思うが、補助事業にどのように影響してくるか。それらに対しての見通しはどうか。東北の一森林組合として、被災地の復興にどのように関わっていくのか。

応答

補助事業の新年度予算が一律五%カットになると聞いている。

震災への支援では、組合役職員で支援物資を集め、秋田プライウッドと合同で被災地へ送った。また、仮設住宅用の基礎杭3万4千本を届け

た。この後は、系統との協議の上、できる限り支援を行っていく。



来賓ご芳名(順不同)

秋田県議会議員

佐藤 健一郎様

秋田県議会議員

小田 美恵子様

秋田県議会議員

三浦 英一様

秋田県議会議員

渋谷 正敏様

秋田県議会議員

加藤 鉦一様

由利地域振興局長

代理 農林部長
菊地 正隆様

由利本荘市長

長谷部 誠様

にかほ市長

代理 副市長
須田 正彦様

由利森林管理署長

須藤 文雄様

秋田県森林組合連合会代表理事会長

代理 専務理事
石黒 信一様

由利本荘市議会議員

渡部 功様

にかほ市議会議員

佐藤 文昭様

秋田水源林整備事務所長

国正 篤司様

農林部森づくり推進課長

櫻田 良弘様

農林中央金庫秋田支店長

代理 副支店長
山根 祥延様

平成23年度 造林補助事業について

1. 今年度の当管内森林整備予算

今年度の当管内森林整備予算は平成22年度の繰越予算、当初予算（加速化事業含む。）を加えた約5億円（補助金額）となっており、昨年度と同規模の予算となっています。当組合の昨年度実績は約465百万円となっており、今年度も昨年度同様に組合員のご理解を得ながら予算消化できるよう森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。

尚、今年度より造林補助事業の改正に伴い、補助金額や補助採択要件が大きく変わっていますので、ご注意下さい。

2. 平成23年度 造林事業種別補助金額

(1ha当り)

作業種	対象樹齢	採択要件・留意事項等	補助金額	
			組合で作業した場合	所有者自ら作業した場合
植栽	スギ	再造林・拡大造林の区分は無し。 植栽本数2,100本～2,499本 植栽本数2,500本～3,000本で区分 広葉樹A：苗高50cm以上 広葉樹B：苗高150cm以上	660,000 ～735,000	545,000 ～607,000
	マツ		510,000 ～556,000	421,000 ～459,000
	広葉樹A		1,384,000 ～1,601,000	1,143,000 ～1,323,000
	広葉樹B		2,187,000 ～2,561,000	1,807,000 ～2,116,000
下刈	1～10年生	単層林・複層林に摘要。2回刈は無し。	93,000	77,000
除伐A	10～25年生 天然林は 60年生以下	伐採作業を主体とする場合 (伐採本数率20%以上)	115,000	95,000
除伐B		刈払作業を主体とする場合 (伐採本数率は規定しない)	103,000	85,000
枝打ち	11～30年生	仕上げ幅1.6m以上 枝打ち高の上限は8m	(注1) 10,000 ～271,000	8,000 ～224,000
雪起こし	2～25年生	雪による倒伏木の倒木起こし	(注2) 185,000	153,000
間伐	11～60年生	1集約化実施計画あたり5ha以上かつ10m ³ /ha以上搬出。 伐採率は20%以上。 5年以内に除伐、間伐を実施していない箇所	(注3) 116,000 ～460,000	96,000 ～380,000

(注1) 枝打ちは実施した仕上げ幅により補助金額が変わります。

(注2) 雪起こしは区域面積×実施率により面積を算出した補助金となります。

(注3) 間伐の補助金額は団地(5ha以上)の平均搬出材積により決定され、団地に一本で交付となりその補助金を面積割合、材積割合によって箇所毎に配分となります。

(注4) 間伐の補助を受けるには、集約化実施計画と事前計画書の提出が必要となります。

代理申請の場合、上記金額より申請手数料が差し引かれます。

また、作業種によっては、別途費用が掛かります。

尚、補助を受けるための条件(作業の方法など)については本所、各支所にお問い合わせ下さい。

今号より林業相談員の三浦光喜氏より林業全般と特用林産物等幅広い事柄について、ご指導頂くことになりました。
第一回目はシイタケ原木栽培についての注意点を伺いました。

シイタケ原木栽培の豆知識

皆様におかれましては、すでに植菌作業も終了し、仮伏せから本伏せへの準備に取り掛かっていることでしょうか。少し時機を失しましたが今後の栽培の参考になればと思いい基礎的な事項を述べたい。

原木の準備

原木の伐採時期は、秋の三分紅葉時が最適です。伐採期間は、木の葉が三分紅葉（黄色葉）したときから、翌春の萌芽前までに伐採したものであればシイタケ原木として利用できます。

山から原木を調達するときは伐採した後すぐに玉切りせずに、木口が放射状にひび割れるまで葉枯らしを行い、その後玉切りをして作業小屋等に運搬し、時機をみて植菌を行う。

また、玉切ったものを購入する時は、いつ頃の伐採かを確認して下さい。原木の林齢は十五〜二十五年生が最適。

植菌までの原木の管理

キノコの菌糸は、原木の組織が生きていると伸長することができない腐生菌です。ですから風通しをよくして半枯れの状態にする。

保管中は、原木から新芽が出てくることがあるので芽欠きを行うこと。ただし、樹皮部の過乾燥は防止する。大事にし過ぎてビニール等で囲い、加湿にならないよう注意すること。

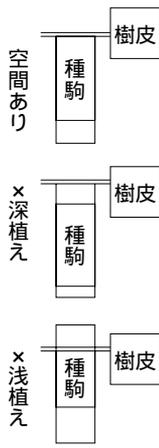
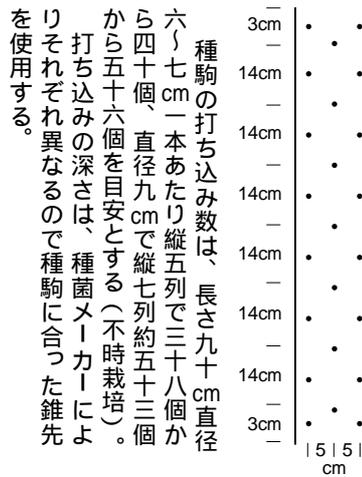
植菌作業

植菌の時期は、前年秋の伐採木にあつては、木口の状態が放射状にひび割れに

なつたことを確認してから屋内または、屋外で植菌を行う。
二月から四月初旬までに伐採したものは、遅くとも梅雨期前までには終わらせること。

植菌方法

菌糸の成長は、適温二十五度で縦方向に約二十から二十五cm、横方向へ六〜七cmほど伸びるといわれているが安全値を考慮して縦方向十五cm以内、横方向五cm以内としチドリ掛けに植菌する。



植菌されたものを楢木（ホダ木）という。

仮伏せ作業

本作業は植菌された種駒の菌糸が速やかに原木組織に活着するのを助けることを目的とするもので、秋冬など寒い時期に植菌された場合は必ず行つた方がよい。

作業内容

・保温
平均気温が十五度以下には行

・保湿

特に乾燥した南風には要注意。平均気温が十五度以上の時には保温の必要はない。

保温の材料は、コモムシロ等を使い、ビニールなどの湿気の溜まるものは極力避けること。

伏せ込み内の温度は、二十五度以下で管理する。

方法
小屋などの室内で行う場合は、台木やブロックの上に腰高位にマキ積にしてその時の気候に合わせてコモムシロなどで困つてやる。

ビニールなど内面に水滴が付着する場合は、裾をたくり上げて湿気をとばし、その後また被覆することを繰り返す。

期間
基本的には、種駒の頭部が白色になり、木口に菌糸紋ができるまで。

原木を切断して菌糸の活着状況を確認してみる。

仮伏せ作業での注意点は、気温が高く

なり、かつ、太陽光線が強くなると被覆内温度が急上昇しやすく、特にビニールによる被覆の場合は、害菌の繁殖しやすい高温多湿の環境になりやすいので温度管理が必要である。

本伏せ作業
植菌から活着したキノコ菌糸が、原木全体に伸長・蔓延し、かつ、原木の栄養分を分解・蓄積してシイタケが発生できる完熟ホダ木にまで進める培養作業です。

シイタケ栽培の力ギは、ホダ木作りに

かかっているといつても過言ではない。
(一) 本伏せに適した場所
・ 木漏れ日程度の光線が入る温暖なところ
・ 水はけのよいところ
・ 風通しのよいところ
・ 湿度が低いところ

ほとんどのホダ場はスギ林を使っているが、太陽光線がチラチラ入るように枝打ち、間伐を実施して環境整備を行うことが大事である。

(二) 本伏せの方法
・ シイタケ菌は、二十二〜二十六度の温度範囲で最も良く生育するが、二十五度以上の高温に対しては弱い性質をもっていることを忘れないように。伏せ込み方は、湿度の高いところ又は、風通しの悪いところでは薄く伏せ込むなど工夫する。

ホダ木の組み方の種類
・ 井桁伏せ
・ よろい伏せ
・ 鳥居伏せ
・ 百足伏せ
・ 三角伏せ など

(三) 本伏せ中の作業・管理
・ ホダ場は、三十分以上の直射日光を避けること。

・ 直射日光が当たるときは、速やかに移動するか、日よけをかけること。
・ 季節の変わり目には、天地返し、ホダ木返しをする。特に、梅雨期の前後には必ず行うよう心掛けること。

・ ホダ場周辺の下草が伸びてくると、風通しが悪くなるので下草刈りを丁寧に行うこと。
・ 夏場の高温多湿には、害菌が分解・吸収する材の栄養分を横取りするだけでなく、たちの悪い菌はシイタケ菌に危害を加えることがあるので要注意である。

また、湿度の高い窪地や谷あいは避けることが望ましい。
以上、シイタケ栽培の要点を述べましたが初年度の栽培管理が、成功の鍵を握っていることは間違いない。

木材市況情報 (平成23年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	3月7日			4月5日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(3,195) 11,505	(3,060) 11,019	(3,138) 11,298	(3,328) 11,983	(1,776) 6,395	(3,230) 11,631
		24~34	(3,811) 13,720	(3,003) 10,813	(3,393) 12,216	(3,901) 14,045	(3,591) 12,931	(3,665) 13,194
出材量・販売量・販売率			690m ³ (2,484石)・690m ³ (2,484石)・100%			786m ³ (2,829石)・722m ³ (2,599石)・92%		

3月：全量落札。材質による単価に差があったが、総じて横ばい。

4月：全体的に強い引き合い。大地震の復旧資材としての杭の供給が一段落、小径木の需要はなくなった。

総務課よりお知らせ

～ 賦課金納付のお願い ～

平成23年度の賦課金納入通知を配布いたしますので、納入期限の7月31日までに納入くださるようお願いいたします。

尚、口座振替依頼書を提出されている方は8月1日に指定の口座から引き落としになりますので、後日確認をお願いいたします。



長い間本当に
ご苦労さまでした

平成二十三年六月三十日付
佐々木 直人
(矢島支所主事)

退職者のお知らせ

平成二十三年三月三十一日付
佐藤 伸一
(矢島支所嘱託職員)

由利支所主査
(前加工課主査)
六月十五日付
小松 義文

職員の異動

矢島支所係長
(前由利支所係長)
小野 達也

新専任指導員

平成二十三年四月一日付
堀江 敏広

今後の行事予定

七月～十月
各地区組合員研修視察
(各支所単位の実施)

七月
平成二十三年度
組合員技術講習会

九月下旬
造林コンクール
応募受付

十月
森林組合まつり

平成23年度 林業相談日

相談員：三浦 光喜

7月	8日・22日
8月	5日・19日
9月	2日・16日